

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

平成 26 年度 事業報告書

公 1 : 景観まちづくり事業

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

1 各種情報の収集、発信及び啓発

(1) 広報活動事業

ア ニュースレター「京まち工房」

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況、当財団の事業等を掲載した広報紙を作成し、広くまちづくりに対する意識を普及・啓発するため、ニュースレター「京まち工房」を発行した。

- ・配布先：賛助会員、全国のまちづくり関連機関、京都府下大学等
- ・発行部数：各号 4,000 部

号数	発行日	概要
第 67 号	H26. 6. 20	(特集) 空き家活用啓発冊子『空き家の手帖』が完成しました！ ～六原学区の取組～ 他
第 68 号	H26. 9. 20	(特集) 京町家アーティスト・イン・レジデンス 2014 ～オランダのアーティストが見つめる京町家の今～ 他
第 69 号	H26. 12. 20	(特集) 京町家継承ネットの活動が始まります！ 他
第 70 号	H27. 3. 20	(特集) 姉小路界隈のまちづくり ～これまでとこれから～ 他

※下線は、平成 26 年度から配布。

イ ラジオの活用による情報発信活動

市民等による先進的なまちづくりの取組紹介や当財団の活動をまちづくりに関心のある市民等に広く発信することを目的として、特定非営利活動法人京都コミュニティ放送（京都三条ラジオカフェ）の番組「まちづくりチョビット推進室」において情報を発信した。

実施月	タイトル及び概要	ゲスト
H26. 6	このまちのためにできること 先斗町まちづくり協議会ってご存じですか？	金田祐一氏（先斗町まちづくり協議会副会長）、 神戸啓氏（同事務局長）
H26. 9	NPO法人らくさいライフスタイル	村下恒雄氏（NPO法人らくさいライフスタイル）
H26. 11	壬生オアシスガーデンってご存知ですか？	武田史朗氏（立命館大学理工学部准教授）
H27. 2	企業における半径 300 メートルの地域防災つ て… ～株式会社カスタネットの挑戦～	植木力氏（株式会社カスタネット代表取締役社長兼 社会貢献室長、一般社団法人京都ソーシャルビジネ ス・ネットワーク代表理事）

ウ 各種啓発冊子、技術資料等の販売

当財団が発行する書籍や受託販売書籍、京町家等組み立てキットなど、景観・まちづくりに関する各種啓発冊子等を販売した。

(7) 冊子等の販売

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| ① なるほど！「京町家の改修」 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ② 京町家の再生 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ③ わたしの家物語 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ④ 京のまちづくり史 | (株式会社昭和堂) |
| ⑤ 大学的京都ガイド | (株式会社昭和堂) |
| ⑥ 京都・岡崎年代史 | (京都岡崎魅力づくり推進協議会) |
| ⑦ Kyoto Machiya Restaurant Guide | (Judith Clancy) |
| ⑧ 町家型共同住宅設計ガイドブック | (京都市) |

(4) 京町家キット等の販売

- | | |
|-----------------|------------|
| 京町家等の組み立て式キット 他 | (株式会社さんけい) |
|-----------------|------------|

(2) 景観・まちづくり大学等

ア セミナー・研究会 <景観・まちづくり大学>

住民の主體的な地域まちづくり活動の展開に向けて、住民が自らの地域を理解し、自らの役割として自覚し、行動する取組を推進するために、地域リーダー及び新たな担い手を養成するためのセミナーを実施し、活動のきっかけづくりとなる機会を提供するとともに、市民や学生のまちづくりへの参画意識の向上を図った。また、京町家の保全・再生に向けて、京町家の価値を再考するとともに、主に京町家の所有者、居住者を対象に京町家の維持管理等に対する基本的な課題解決を図った。

(7) 京のまちづくり史セミナー

市民を対象に、京都のまちづくりの歴史を学びこれからのまちづくりを考えるため開催した。

開催日	講座名	講師	定員	出席者
H26. 5. 26	まちの中の町家、町家から見たまち	高橋康夫氏 (花園大学教授、京都大学名誉教授)	50	46
H26. 6. 10	秀吉の大改造：マクロとミクロ	高橋康夫氏 (花園大学教授、京都大学名誉教授)	50	33
H26. 7. 16	京都復興の展開：明治期の首長は地域とどう向き合ったのか	中川理氏 (京都工芸繊維大学大学院教授)	50	42
H26. 7. 30	近代京都と東山：生活行為がつくる景観から都市計画がつくる景観へ	中嶋節子氏 (京都大学大学院准教授)	50	45
H26. 9. 10	オランダに学ぶ近代建築の保存活用	笠原一人氏 (京都工芸繊維大学大学院助教)	50	33
H26. 11. 1	祇園祭の生命力：祭の維持における山鉾町の役割	吉田孝次郎氏 (公益財団法人祇園祭山鉾連合会理事長、京都生活工芸館無名舎主)	40	20
H26. 11. 25	郊外居住を求めて：北白川の形成と暮らし	石田潤一郎氏 (京都工芸繊維大学大学院教授)	50	33
H26. 12. 20	西陣のまちなみといとなみ	水島あかね氏 (明石工業高等専門学校准教授) 古武博司氏 (西陣の町家・古武主宰)	35	32
H27. 2. 14	桂川の渡り方：山陰街道の往来をめぐる村々のせめぎあい	松中博氏 (京都市歴史資料館研究員)	50	27
H27. 3. 2	先斗町、神楽坂、そして新潟古町：花街の建築と都市空間	松井大輔氏 (新潟大学工学部助教)	50	27
H27. 3. 14	京都小学校校舎の発展過程と学区：昭和戦前のコンクリート校舎	大場修氏 (京都府立大学大学院教授)	30	29
			計	367

(イ) まちづくり実践塾

まちづくりに関心の高い市民、学生、専門家を対象に、まちづくりに関する種々の情報を発信し、広くまちづくりへの参画意識の向上のため開催した。

開催日	講座名	講師	定員	出席者
H26. 7. 25	地域の伝統行事とまちづくり ～成逸学区の地蔵盆調査をもとに～	石本幸良氏（京・まち・ねっと代表）、 牧本晴男氏（成逸自主防災会会長）	30	27
H26. 8. 1	地域が学校をつくり、学校が地域をつくる：学区による学校運営	和崎光太郎氏（京都市学校歴史博物館学芸員）	30	18
H26. 9. 3	地域まちづくりからみた「学区」とは	田中志敬氏（福井大学地域共生プロジェクトセンター助教）	30	17
H26. 10. 29	頭と体と手を使う：体験から始まる参加の形	門内輝行氏（京都大学大学院教授）	30	7
H26. 11. 26	市民によるコミュニティづくり：海外におけるＡＢＣＤの取り組み	桜井政成氏（立命館大学准教授）	30	11
H27. 2. 19	寄附を活かした地域まちづくり	深尾昌峰氏（龍谷大学政策学部准教授、公益財団法人京都地域創造基金理事長）	30	18
H27. 3. 18	地域と企業のパートナーシップによるまちづくり	植木力氏（株式会社カスタネット代表取締役社長、一般社団法人京都ソーシャルビジネス・ネットワーク代表理事）	30	17
			計	115

(ウ) 京町家再生セミナー

主に京町家の所有者、居住者を対象に、京町家の維持、管理等に関する基本的な課題の解決のため開催した。

開催日	講座名	講師	定員	出席者
H26. 4. 23	京町家と京のまちづくり	宗田好史氏（京都府立大学大学院教授）	50	31
H26. 5. 10	春秋・町家見学会（春の回） 生谷家住宅主屋	長瀬博一氏（有限会社長瀬建築研究所代表取締役）、 小笠雅章氏（京都庭園室代表）	30	34
H26. 6. 4	京町家を地震から守るために	林康裕氏（京都大学大学院教授）	50	29
H26. 6. 21	大工さんに聞く、町家のキホン	狩野文博氏、米田安志氏、堀榮二氏 （京都府建築工業協同組合）	20	16
H26. 7. 26	京町家に移り住んで：伊藤邸の夏のしつらえ	伊藤正人氏（京町家所有者）、 朝倉真一氏（まちひろば計画工房）	15	16
H26. 8. 21	町家の税金のこと教えます！	辻本尚子氏（株式会社みやこ不動産鑑定所代表取締役）	50	41
H26. 8. 27	京町家と相続	内藤卓氏（はるかぜ総合司法書士事務所代表）	50	34
H26. 9. 13	町家探しの心得イロハ	井上信行氏（NPO法人京町家・風の会代表）	50	28
H26. 9. 24	京町家の売買・賃貸契約と注意点	苗村豊史氏（有限会社みのり住建代表取締役）	50	44
H26. 10. 4	春秋・町家見学会（秋の回）	長江家住宅袋屋、旧川崎家住宅紫織庵、釜座町町家	30	30
H26. 10. 18	京町家で江戸絵画を楽しむ：座敷飾りの魅力再発見	伊藤正人氏（京町家所有者）、朝倉真一氏（まちひろば計画工房）	30	14
H26. 11. 1	修復から学ぶ町家のつくり	木下龍一氏（一般社団法人京町家作事組代表理事）	30	26
H26. 11. 15	町家改修の進め方：暮らしの文化を継承する改修計画	内田康博氏（一般社団法人京町家作事組理事）	50	32
H26. 11. 28	木を見る：京町家、防火改修の最前線	木村忠紀氏（京都府建築工業協同組合理事長）	50	31
H26. 12. 17	木を知る：京町家、耐震改修の最前線	奥田辰雄氏（一級建築士事務所木四郎建築設計室）	50	27
H27. 1. 21	京町家、断熱改修の最前線！	富家裕久氏（富家建築設計事務所）	50	32
H27. 2. 10	町家の改修資金のあれこれ	吉田光一氏（公益社団法人京都府宅地建物取引業協会、京町家専門相談員）	50	25
H27. 3. 11	坪庭と現代生活	駒井隆雄氏（京都府造園協同組合常務理事、駒井造園設計代表）	50	37
H27. 3. 15	子育て世代と町家の暮らし	三原克敏氏（町家居住者）、浜谷富美子氏（町家居住者）、朝倉真一氏（まちひろば計画工房）	20	7
H27. 3. 23	京町家、相続・税金の不安解消！	辻本尚子氏（株式会社みやこ不動産鑑定所代表取締役）	50	18
			計	552

※建築士の知識や技術に関する研鑽を目的とする（一社）京都府建築士会のCPD登録制度を活用し、秋季以降の景観・まちづくり大学の講座の一部についてCPDプログラムに位置付け、受講を推進した。

(イ) 各種団体等との協働セミナー等

景観・まちづくりに関わる市民団体との協働によりセミナーを開催した。

開催日	講座名	講師	定員	出席者
H26. 5. 10	春秋・町家見学会（春の回） 生谷家住宅主屋【再掲】	長瀬博一氏（有限会社長瀬建築研究所代表取締役）、小埜雅章氏（京都庭園室代表） 【共催】町家をトーク運営委員会	30	34
H26. 9. 13	町家探しの心得イロハ【再掲】	井上信行氏（NPO法人京町家・風の会代表） 【共催】NPO法人京町家・風の会	50	28
H26. 10. 4	春秋・町家見学会（秋の回）【再掲】	長江家住宅袋屋、旧川崎家住宅紫織庵、釜座町町家【共催】町家をトーク運営委員会	30	30
			計	92

(オ) 研究会等の開催

近代まちづくり史の編纂

学識者や若手研究者等による研究会や調査を実施し、主として20世紀以降の市街地形成の変遷と郊外住宅の変遷を取りまとめ、近代まちづくり史を編纂する。

平成26年度は、地理情報システムを活用した調査について意見交換を行った。

研究会委員（順不同）
会長：大場修氏（京都府立大学大学院教授）
顧問：三村浩史氏（京都大学名誉教授）
委員：寺田敏紀（（公財）京都市景観・まちづくりセンター専務理事）
福島幸宏氏（京都府立総合資料館歴史資料課）
矢野桂司氏（立命館大学大学院教授）
拡大研究会委員（順不同）
委員：高田光雄氏（京都大学大学院教授）
中川理氏（京都工芸繊維大学大学院教授）
リムボン氏（立命館大学教授）

イ 景観・まちづくりシンポジウム

地域まちづくり活動や京町家の保全・再生の活性化を目指し、種々の課題とその解決方策を見出すための産・官・学・民の協働によるシンポジウムを開催した。

- ・タイトル：「地域をひらく：新しい人を受け入れる形」
- ・日時：平成26年12月7日（日）13:30～16:30
- ・場所：ひと・まち交流館 京都 2階大会議室
- ・参加者：101名
- ・内容：個人化、少子高齢化、多様化が進む現代の暮らしの中で、人と人との関係が希薄になってきており、地域として、どのように人を受け入れ、共に活動し、持続的な地域運営ができるかが課題となっている。これに対して、新しい人を受け入れ、地域活動に参加する人材を得る取組が各地域で行われている。今回は、新しい人が参加しやすい仕組み、活動への参加につなげる関係づくり、さらに、活動の継続・発展につなげる事例紹介を通じて、人を受け入れながら目指す持続的な地域運営について考える。

プログラム	
第1部	まちづくり事例紹介 ・話題提供：新川達郎氏（同志社大学大学院教授） ・事例紹介：成逸学区、待賢学区、六原学区 ・京都市の地域コミュニティ活性化の取組紹介
第2部	パネルディスカッション (コーディネーター) 新川達郎氏 (パネリスト) 牧本晴男氏（成逸自主防災会会長） 左近允則氏（待賢住民福祉連合協議会会長） 内藤敏哉氏（待賢まちづくり委員会委員） 菅谷幸弘氏（六原自治連合会事務局長、 六原まちづくり委員会委員長）

※展示コーナーでは、各地域を知ってもらうための地域情報発信ツール(マップ、パンフレット等)を集めて展示した。

2 市民等の活動に対する総合的支援

(1) 地域活動支援

ア 景観・まちづくり相談

当財団職員が、これから自主的なまちづくり活動に取り組もうとしている地域や、過去に専門家派遣や活動助成を実施した実績があるなど、既に継続的なまちづくり活動を行っている地域に対して、様々なアドバイスや各種情報提供等を行い、活動の継続、活動内容のさらなる充実・発展につなげた。

- ・相談件数 341 件（平成 25 年度実績 365 件）

相談項目	件数
地域まちづくり活動、地域の現状等	316
マンション問題	18
当財団事業概要（まちづくり活動支援事業等）	6
景観・まちづくりに関するルール（式目、地区計画、景観協定、建築協定等）	119
法律、条例関係（都市計画法、景観法、建築基準法等）	33
学生対応	10
まちづくりコーディネート事業	266
その他	37
合計（※項目ごとの件数の累計）	805

- ・当財団職員が常時相談に応じている地区 21 地区

（北区）柗野学区（上京区）西陣中央小学校区、待賢学区、成逸学区（左京区）大原学区、松ヶ崎学区（中京区）姉小路界限、立誠学区（先斗町）（東山区）六原学区、古門前通元町、元吉町（下京区）修徳学区、有隣学区、永松学区（南区）久世工業団地（右京区）嵐山地区（西京区）桂坂地区、洛西ニュータウン（伏見区）醍醐学区、下板橋町周辺（月桂冠酒蔵）、新町三丁目

※下線は、平成 26 年度から新たに対応している地区を示す。

イ まちづくり活動助成

地区計画や建築協定などの法制度等を活用し、景観・まちづくりに継続的に取り組む地域に対して、活動費を助成した。

【助成地区及び助成対象事業】

中京区姉小路界限：地域景観づくり計画書の内容を地域住民、事業者、建築主等に周知するための計画書冊子等の作成。

ウ まちづくり専門家派遣

景観・まちづくり活動に取り組む地域に、相談内容に応じて、まちづくり専門家を派遣する。必要に応じて、一定期間継続して派遣した。

【専門家派遣地区及び支援内容】

<まちづくり専門相談>

北区柘野学区：柘野学区まちづくりビジョン推進委員会の運営支援【平成24年度～】

「柘野学区まちづくりビジョン」（平成24年度策定）に掲げたテーマごとにチームを設置し、取り組むにあたり助言等を行った。

上京区待賢学区：待賢まちづくり委員会委員の運営支援【平成26年度～】

新住民との関係づくりをテーマにした今年度の当財団主催シンポジウムへの参加を通じてこれまでの活動の振り返りをもとに、今後のまちづくり委員会の進め方の検討をするにあたり、助言及び指導を行った。

左京区松ヶ崎学区：【平成26年度～】

安心感の持てるコミュニティの活性化、充実した町内会（自治会）組織づくりを目指し、地域ホームページ等を活用した学区内での情報の共有化等に対して助言及び指導を行った。

東山区六原学区：六原まちづくり委員会空き家活用啓発部会の運営支援【平成25年度～】

空き家啓発パネル及び出前講座用の説明資料の作成に対して助言及び指導を行った。

東山区弥栄学区元吉町：（仮称）元吉町まちづくり協議会運営支援【平成26年度～】

近年地域が抱える景観、コミュニティ等に関する課題解決へ向け、初動期の地域活動に対する助言及び指導を行った。

下京区修徳学区：景観づくり相談会の運営支援【平成26年度～】

新たな建築計画について事前協議を行うにあたり、協議内容の記録及び協議に対する助言等を行った。

右京区嵐山地区：嵐山景観まちづくりサロンの運営支援【平成24年度～】

「地域景観づくり協議会」の設立に向けて、地域の諸課題や景観・まちづくりについて意見交換する場「サロン」の運営に対する助言等を行った。

伏見区下板橋町周辺（月桂冠酒蔵）：【平成26年度】

「（仮称）酒蔵の景観・伏見の美しいまちをつくろう会」の活動が地域景観の保全・継承に対する取組に発展するよう助言及び指導を行った。

伏見区新町三丁目：新町三丁目まちづくり検討会議運営支援【平成26年度～】

地区計画等のルール策定に向けて、地域住民の意向確認の進め方について助言及び指導を行った。

<コンサルタント派遣>

上京区成逸学区：成逸防災まちづくり協議会の運営支援【平成 26 年度～】

防災まちづくり及び空き家対策に係る協議会の運営、啓発活動、調査活動、まちあるきの実施等に対する助言等を行った。

中京区姉小路界限：姉小路界限まちづくり協議会の運営支援【平成 26 年度～】

「地域景観づくり計画書」策定に向けて、景観づくりの方針設定や協議会運営の仕組みの構築等に対し助言及び指導を行った。

(2) 京町家再生支援

ア 京町家なんでも相談

京町家の保全、再生、活用を図るため、各種の専門家、団体等の協力の下、「京町家なんでも相談」を実施した。京町家まちづくりファンド、京町家継承ネットの普及啓発等、京町家関連事業の取組強化のなかで一般相談、専門相談ともに件数が大きく伸びた。

(ア) 一般相談 490 件（平成 25 年度末実績 395 件）

当財団職員が一次対応として、相談内容に応じて専門相談や団体紹介を行った。

(イ) 専門相談 45 件（平成 25 年度末実績 18 件）

大工、建築士、不動産事業者等の実務者による専門相談を行った。

(ウ) 出張による相談、啓発

景観重要建造物候補に値すると判断した京町家に対し、往訪事業を実施したほか、京町家なんでも相談及び京町家まちづくりファンドにおいて、景観重要建造物への指定を推進した。

【相談項目内訳】

相談項目	一般相談	専門相談	合計件数
改修に関するもの	195	30	225
活用に関するもの	99	21	120
賃借・購入希望に関するもの	50	0	50
耐震、防火に関するもの	21	10	31
賃貸・売買契約に関するもの	15	4	19
相隣問題	11	0	11
相続に関するもの	20	3	23
資金、公的な支援制度	77	6	83
京町家まちづくりファンド	119	5	124
京町家カルテ	87	3	90
海外連携情報発信事業	8	0	8
往訪事業（建物調査報告書関連）	13	0	13
その他（マスコミ、視察、協力依頼、情報提供など）	78	2	80
合計件数	793	84	877

イ 京町家データベース

平成 20、21 年度京町家まちづくり調査によって調査した約 48,000 件の京町家等を元に I D 管理された物件を G I S（地理情報システム）上で地理的に管理する。

個々の物件について、専門相談、京町家カルテ、京町家まちづくりファンド、建物調査報告書の作成等の相談・対応履歴を入力し、物件毎に一元的に管理する京町家データベースを運営した。

ウ 京町家専門講座

建築、不動産業等に携わる専門家を対象に、京町家に関する概論、技術、流通、制度等を学ぶための専門講座を開催した。なお、本講座は、京町家専門相談員研修会を兼ねて実施した。

開催日	講座名	講師	出席者
H26. 6. 26	京町家に関する税金の基礎知識	辻本尚子氏（株式会社みやこ不動産鑑定所 不動産鑑定士・税理士）	38
H26. 7. 31	京町家を保全・再生するために建築基準法をどう読み解くか-「京町家できること集」と「3条その他条例」-	奥山陽二氏（京都市都市計画局建築指導課）、大崎弘晃氏（同建築審査課）	88
H26. 8. 26	京町家の再生設計-伝統を生かした改修のための設計手法-	木下龍一氏（一級建築士事務所アトリエ RYO 主宰、一般社団法人京町家作事組代表理事）	65
H26. 10. 22	京町家の活用事例-京町家の魅力と可能性-	西村孝平氏（京町家専門相談員、株式会社八清代表取締役）	36
H26. 11. 17	復元的考察の意味とその手法	中川等氏（大阪産業大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科准教授）	39
H27. 1. 9	町家の構造の特徴と、安全性確保のポイント	奥田辰雄氏（一級建築士事務所、木四郎建築設計室）	34
H27. 2. 10	京町家カルテスキルアップ研修 文化レポート作成のポイント	大場修氏（京都府立大学教授） 栗山裕子氏（WIN 建築設計事務所主宰）	13
H27. 2. 22	京町家改修現場見学会 -店舗兼住宅の町家改修-	辻勇治氏（辻工務店）、末川協氏（末川協建築設計事務所）	26
H27. 3. 18	京町家なんでも相談ふりかえり会	-	4
			343

エ 京町家等継承ネット

京町家などの適切な継承を促進するため、市民活動団体を始め、経済、不動産、建築、金融、法律等、多くの団体が集まり、京都市も参加して京町家等継承ネット（代表 高田光雄 京都大学大学院教授）を設立し、当財団は事務局を担っている。京都市の耐震化や空き家予防の取組とも連携し、建物の老朽化や所有者の高齢化などにより適切な継承が困難な京町家や古民家の所有者・居住者への啓発や情報発信を行うとともに、会員への啓発・研修を行い、必要とされる更なる支援システムの開発と普及を行う。

- ・（仮称）京町家等利活用促進協議会準備会への参加団体と協議を重ね、会の方針や各団体の参画について調整を図った。（平成 25 年 8 月～平成 26 年 9 月）
- ・京都市の空き家対策事業との関係性を整理し、連携を図ることとなった。
- ・名称を「京町家等継承ネット」に改め、平成 26 年 11 月 21 日に設立し、京町家等継承相談会、各会員の関連事業をキックオフイベントとして開催した。

開催日	内容	出席者
H26. 11. 21	京町家等継承ネット設立総会 ・事業計画等の承認 ・高田光雄代表、門川大作京都市長、会員代表者、記者等が出席	70 名
	トークセッション 「京町家の継承」 【講師】細尾真生氏（株式会社細尾代表取締役社長、京都経済同友会副代表幹事） 田中充氏（景観重要建造物田中邸）	
H26. 11. 22	京町家等継承相談会 【会場】The Terminal KYOTO ・京町家等の所有者向け専門相談を開催 ・各会員から相談員を派遣した	11 組 (相談者)

- ・支援システムの研究活動として、国土交通省と連携して居住者参加型京町家等空き家再生事業（「借主負担DIYの賃貸借」モデル事業）を実施した。（平成 26 年 9 月～現在）
- ・京町家等継承相談会の相談案件を契機に、大型町家継承モデルプロジェクトに向けて会員調整を行った。

3 各種団体等との交流及び協働活動

(1) 京町家アーティスト・イン・レジデンス

京町家を滞在先としてオランダからのアーティストを受入れ、京町家の活用促進及び所有者や地域との交流を支援するとともに、地域まちづくりの活性化を図った。

- ・滞在期間 5月21日～7月21日

今出川堀川エリアの京町家・米田邸、アニュアルギャラリーを滞在拠点とした。

- ・滞在家作家2名

イシャ・コッペヤン (Isjah Koppejan) 氏：文化遺産保存に関する研究者

セシ・デニス・ノルテン (Cesi Denise Nolten) 氏：現代アート作家

(サウンドアート、ビジュアルアート)

- ・主な活動スケジュール

開催日	内 容
H26. 5. 22	オープニングパーティ
H26. 6. 1 H26. 6. 3	京町家に関するツアー (四条エリア、西陣エリア)
H26. 6. 25	ヨーロッパの文化遺産保存に関するレクチャー 講師：イシャ・コッペヤン氏 会場：京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム2
H26. 7. 18-20	成果発表展 会場：アニュアルギャラリー 展示：京町家の研究について (イシャ・コッペヤン氏) サウンドインスタレーション「The Soul of Kyoto：京都の精神」(ノルテン氏)
H26. 7. 18	アーティストトーク、レセプションパーティー 発表者：セシ・デニス・ノルテン氏 会場：KR P町家スタジオ 協力：京都リサーチパーク株式会社
H26. 7. 19	ワークショップ「京町家の未来：Rethinking of the future of machiya」 ファシリテーター：イシャ・コッペヤン氏 会場：同志社大学 烏丸キャンパス 志高館 地下1階 (SK地12) 共催：同志社大学 ソーシャルイノベーションセンター

共催：日本カルチャーセンター・アムステルダム、(公財)京都市景観・まちづくりセンター、
NPO法人 ANEWAL Gallery

後援：オランダ王国大使館

助成：平成26年度上京区民まちづくり活動支援事業

- ・9月30日、記録集が完成し配布
- ・平成27年度は平成27年1月から滞在アーティストを募集し、9月末～11月末に滞在予定
引き続き、日本カルチャーセンター・アムステルダムが協賛予定

(2) ワールド・モニュメント財団（WMF）との連携

京町家再生プロジェクトとしてワールド・モニュメント財団から支援を受けた釜座町町家と旧村西家住宅の活用に協力を引き続き行った。

なお、旧村西家住宅は芸術家木田安彦氏による町家美術館「風雷房」（平成 24 年 5 月～平成 26 年 12 月）として運営していたが、平成 27 年 4 月から、京都旅行の企画や講座の主催・講演等を事業としている株式会社らくたびが、観光、教育活動の拠点として運営を行うこととなった。これに伴い、旧村西家住宅において実施する京町家に関する普及啓発活動等について、株式会社らくたび、NPO 法人京町家再生研究会、当財団で協働することとしている。
(参考)

京町家再生プロジェクト 第 1 期 釜座町町家（平成 23 年度）

第 2 期 旧村西家住宅（平成 24 年度）

4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

(1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

京町家の保全、再生、活用を促進し、京都固有の暮らしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承・発展と、町並み景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的として、京町家まちづくりファンドを運営した。

ア 京町家まちづくりファンド委員会運営

平成 26 年 7 月 1 日、2 日 改修助成事業申請案件視察会開催

平成 26 年 7 月 9 日 第 31 回京町家まちづくりファンド委員会開催

平成 27 年 3 月 18 日 第 32 回京町家まちづくりファンド委員会開催

・申請 8 件のうち、選定 7 件（選定 1 件交付取消）、非選定 1 件

イ 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

(ア) 京町家まちづくりファンド・サロン

開催日：平成 26 年 6 月 12 日、14 日 参加者 36 名

これまでに改修助成を行った案件の所有者等による座談会を開催

(イ) 京町家まちづくりファンド事業報告会

開催日：平成 26 年 11 月 9 日

- ・平成 25 年度寄附者及び過去の高額寄附者を対象とした事業報告会
- ・改修助成案件見学会

(ウ) 京町家まちづくりファンド記録集の作成

- ・平成 25 年度完成 2 件について、300 部作成及び送付

(エ) 寄附付き商品

- ・寄附付き商品の拡充に向けて協議を行っている。
- ・株式会社井筒八ッ橋本舗より 10 月初旬発売の新商品『夕子 バナナカカオ』を寄附付き商品として販売

(オ) 京あるき in 東京 2015

京町家まちづくりファンドの普及啓発、京都創生連続講座として京町家の魅力と再生の必要性を訴えるセミナーを開催した。

日時：平成 27 年 2 月 20 日（金）13:30～15:30

会場：野村コンファレンスプラザ日本橋 6 階大ホール（東京都中央区日本橋室町 2-4-3）

内容：京町家・東京シンポジウム

「景色の継承 ー京町家の再生を通してー」

- ・パネリスト デービッド・アトキンソン氏（㈱小西美術工藝社会長兼社長）
小川勝章氏（造園「植治」次期 12 代）
- ・コーディネーター 小島富佐江氏（NPO 法人京町家再生研究会理事長）

参加者数：300 名

(2) 歴史的建造物の保全、再生に関する支援事業

ア 京町家カルテの作成

京町家が文化的な資産である理解を広め、京町家の適切な維持・管理を促すことを目的として、専門家に依頼して京町家カルテを作成し発行した。

- ・京町家カルテ発行件数 53 件（平成 25 年度実績 34 件）

イ 京町家カルテ委員会

京町家カルテの内容を審査し、適正に運用することを目的として、理事長の諮問機関として、学識者及び実務者で構成する京町家カルテ委員会を毎月 1 回開催した。

(3) 歴史的建築物の保存及び活用に係る普及啓発及び調査《新規事業》

京都市建築指導課の委託を受け「京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例（以下、「本条例」という。）」の利用促進を図るため、所有者等に対する本条例の普及啓発及び補助事業等の活用支援制度の普及啓発を行うとともに、本条例の対象建築物等の建築物（京町家等）及び敷地の状況や所有者の活用意向等を調査した。

ア 歴史的建築物の保存及び活用に係る普及啓発

- (ア) 調査候補建築物への資料（本条例リーフレット、補助制度の資料等）の配布（635 軒に郵送）
- (イ) イの調査候補建築物及び関係団体等への本条例の普及啓発に係る説明会の開催
 - ・日 時：平成 26 年 7 月 31 日
 - ・出席者数：88 名
- (ウ) 京町家の保全、再生に係る関係団体の構成員に対するヒアリングの実施
 - ・内 容：京町家の保存及び活用に関する要望、所見及び本条例の適用が見込まれる建築物及び調査候補建築物の情報について
 - ・対 象 数：7 事業者 12 名
 - ・実施期間：平成 26 年 7 月から平成 27 年 3 月まで計 9 回実施

イ 調査建築物への個別訪問による調査 25 件

京町家等の所有者に対して個別訪問を行い、活用意向等のヒアリング及び建物・敷地状況の調査を行った。

調査の結果、本条例の活用に至ったものはなかったが、町家継承のための相続、資金（税を含む）の問題、住居とゲストハウスの併用など、活用の幅が広がることによる継承の可能性などが調査を通じ見えてきた。

京町家等の活用の幅を広げるため、用途制限の適用除外等の場面で本条例が有効であると考えられるが、条例適用のための耐震改修や、条例を利用する場合の期間短縮、費用の明確化など、所有者の懸念事項を把握することができた。

5 公共人材育成に関する教育及び研修

(1) インターンシップ受入

当財団を実務経験の場として提供し、大学での履修科目と実際の現場での実務経験を通して、公共的感性を持った人材を育成することを目的に、連携大学から履修生の受け入れを行った。

大学	学部	人数	受入期間
京都女子大学	現代社会学部	1	H26. 8. 16-30

(2) 視察受入

国内外の行政機関、大学等からの視察を受け入れ、当財団の活動紹介等を行った。

受入日	団体名	人数	内容
H26. 4. 3	韓国釜山(プサン)市職員 他	7	当財団概要、事業説明
H26. 5. 14	静岡市立薫科中学校	5	当財団概要、施設見学
H26. 6. 16	京都看護大学	9	京都のまちづくり、施設見学
H26. 6. 23	東京大学大学院 北京大学(中国)	2	事業説明、姉小路散策
H26. 7. 11	早稲田大学社会科学部教授 他	6	事業説明(京町家)
H26. 7. 25	浜松市職員(政策課題研究研修)	5	空き家対策事業
H26. 7. 28	墨田区議会議員行政視察	4	当財団概要、密集市街地対策等
H26. 8. 12	韓国大邱(テグ)市寿城区長 他	3	事業説明、当財団概要等
H26. 8. 14	韓国牙山(アサン)市職員 他	7	京都のまちづくり、施設見学
H26. 9. 3	韓国水原(スウォン)市国外文化研修団 (市職員)	21	京都のまちづくり、施設見学
H26. 9. 9	J I C A 集団研修	13	事業説明(京町家)
H26. 9. 30	韓国大邱(テグ)市広域市議会建設交通 委員会	10	景観政策全般
H26. 10. 17	摂南大学経済学部教授	1	京町家の保全・再生
H26. 10. 23	北海道庁職員	1	京町家の保全・再生
H26. 10. 29	中国北京文化遺産保護センター	16	京町家の保全・再生
H26. 10. 30	韓国京畿道(ギョンギド)高陽(コヤン) 市市議 他	16	京都のまちづくり
H26. 11. 11	ディボネゴロ大学(インドネシア)	3	京町家の保全・再生
H26. 11. 11	ガジャ・マダ大学(インドネシア)	20	当財団概要
H26. 11. 14	早稲田大学卯月ゼミ	15	京町家の保全・再生
H26. 11. 14	愛媛県大洲市古民家再生推進協議会	6	京町家の保全・再生
H26. 11. 20	同志社大学風間ゼミ	6	京町家の活用に関して
H26. 11. 28	武蔵野市職員	4	センター概要、空き家対策、景観整備機構
H26. 12. 8	東京農業大学国際食料情報学部	8	京のまちかど説明(京都の歴史)
H26. 12. 16	立命館大学 タマサート大学(タイ)	50	京都市の都市計画やまちづくり等
H27. 1. 28	国土交通省職員	2	京町家D I Y、保全・再生ヒアリング
H27. 2. 1	韓国大邱(テグ)市KR I S近代建築リ ノベーション事業メンバー	6	京町家の保全・再生、助成事業
H27. 3. 6	オランダ王国大使館報道・文化部	3	アーティスト・イン・レジデンス
H27. 3. 26	U C L A 公共政策大学院生	12	京町家の保全・再生、京都市の政策、京町 家証券化の取組

(3) 講師派遣

講師派遣の依頼に応じて当財団職員を派遣し、当財団の活動紹介等を行った。

受入日	派遣先	内 容
H26. 4. 18	大阪市立大学	京都のまちづくりの文化
H26. 10. 14	京都洛北ライオンズクラブ	京町家の保全・再生
H26. 11. 13	奈良県立大学	京町家の保全・再生
H26. 12. 2	京都不動産研究協会	京町家の保全・再生

(4) 景観エリアマネジメント講座

まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観に対する幅広い知識と高い見識を持つ人材を養成することを目的として、その知識を得るための基礎講座、フィールドワークを中心に地域での活動に必要なスキルを得るための実践講座をNPO法人京都景観フォーラムとの共催事業として開催した。

・基礎講座（全8回）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	H26. 7. 19	基礎理論 (1)	堀繁氏（東京大学大学院教授）	45
2	H26. 8. 23	基礎理論 (2)	宗田好史氏（京都府立大学大学院教授）	35
3	H26. 9. 20	京都のまちの形成と景観史	高橋康夫氏（花園大学教授、京都大学名誉教授） 中川理氏（京都工芸繊維大学教授）	35
4	H26. 10. 25	土木と景観デザイン	山田圭二郎氏（京都大学大学院特定准教授）、 篠原修氏（東京大学名誉教授、G Sデザイン会議代表）	28
5	H26. 11. 15	京の生活文化	谷晃氏（野村美術館館長）、 仲隆裕氏（京都造形芸術大学教授）、 笹岡隆甫氏（華道「未生流笹岡」家元）	25
6	H26. 12. 20	建築とランドスケープ	江川直樹氏（関西大学教授）、 佐々木葉二氏（京都造形芸術大学教授）	27
7	H27. 1. 17	景観政策と法律	飯田昭氏（弁護士）、石田光廣氏（司法書士）	27
8	H27. 2. 21	景観まちづくり・終了式	高田光雄氏（京都大学大学院教授）	50

・実践講座（全5回※講座形式）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	H26. 6. 21	オリエンテーリング		10
2	H26. 7. 20	景観を理解する	堀繁氏（東京大学大学院教授）	12
3	H26. 8. 30	色彩と景観調和について	渡辺安人氏（アーキタイプ工房）	12
4	H26. 9. 6	対話型ファシリテーター講座	中田豊一氏（ソムニード、参加型開発研究所）	11
	H26. 9. 19	フォローアップ講座		10
5	H26. 10. 18	景観まちづくりの現場から	門内輝行氏（京都大学大学院教授）	11
6	H26. 11. 22	ワークショップ（実践フィールドにおける課題と対策について）		8

(5) 文化財マネージャー育成講座

京都市、NPO法人古材文化の会とともに「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」を構成し、同委員会の主催により、歴史的建造物の調査・保存・活用やまちづくりを実践する文化財マネージャー（建造物）を育成することを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」、及び文化財マネージャー（建造物）のスキルアップを目的とする「京都市文化財マネージャー上級講座」を開催した。

平成26年度は、第6期育成講座（平成26年1月～7月、受講者36名、修了者20名、補講修了者10名）、第2期上級講座（平成25年9月～平成26年8月、受講者8名、修了者5名、補講修了者1名）を実施し、第7期育成講座（平成27年1月～7月、受講者34名）、第3期上級講座（平成26年9月～平成27年8月、受講者5名）を開始している。

■ 育成講座（第6期、第7期（実施済み））

	回	開催日	内 容	講 師
第6期	1	H26. 1. 18	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論	永井規男氏（古材文化の会、関西大学名誉教授） 寺田敏紀（（公財）京都市景観・まちづくりセンター）
	2	H26. 2. 1	住宅建築	矢ヶ崎善太郎氏（京都工芸繊維大学准教授）
			文化財保護法 庭園の様式	武内正和氏（文化庁） 仲隆裕氏（京都造形芸術大学教授）
	3	H26. 2. 15	循環型社会と保存・活用	浅岡美恵氏（弁護士）
			近代洋風建築	石田潤一郎氏（京都工芸繊維大学大学院教授）
	4	H26. 3. 1	民家建築	中川等氏（大阪産業大学准教授）
			文化財建築物の保存・活用 見学	杉本歌子氏（奈良屋記念杉本家保存会） 秦家住宅、杉本家住宅
	5	H26. 3. 15	演習1 仁和寺観音堂見学	京都府文化財保護課
	6	H26. 3. 29	京都の文化財 保存・活用のマネジメント/再生 設計	石川祐一氏（京都市文化市民局文化財保護課） 藤岡龍介氏（建築家）
			保存・活用のマネジメント/活用 計画	宗田好史氏（京都府立大学大学院教授）
	7	H26. 4. 12	寺社建築	菅澤茂氏（文化財建造物修理主任技術者）
			歴史的建造物の技法	寺本光男氏（瓦葺職）、浅原雄三氏（左官職）
			歴史的建造物の調査	中川等氏（大阪産業大学准教授）
	8	H26. 4. 26	演習2 登録文化財調査	石川祐一氏、清水一徳氏（京都市文化市民局文化財保護課）、中川等氏（大阪産業大学准教授）、桐浴邦夫氏（京都建築専門学校建築科二部主任）、永松尚氏、中井玲子氏（建築家）
9	H26. 5. 10	歴史的建造物と耐震補強	井上年和氏（建築研究協会）	
		歴史的建造物の再生設計/構造設計 演習2の中間報告	井手晃二氏、奥田辰雄氏（構造設計家）	
		講座終了レポートの中間報告		
10	H26. 5. 24	歴史的建造物と防災対策	益田兼房氏（国際記念物遺跡会議文化遺産防災国際学術委員会）	
		歴史的建造物の再生設計/意匠設計 演習2の講評	木下龍一氏、笠原啓史氏（建築家）	
		講座終了レポートの中間報告		
11	H26. 6. 7	演習3 保存・活用相談	古材文化の会の建築家と構造設計家	
12	H26. 6. 21	建築基準法・景観法	奥山陽二氏（京都市都市計画局建築指導課）、 山本一博氏（同景観政策課）	
		指物の技法 演習3の講評	大谷普賢氏（伝統工芸士）	
		講座終了レポートの中間報告		
13	H26. 7. 5	歴史的環境の整備	山崎正史氏（立命館大学教授）	
		保存・活用とまちづくり/上賀茂	永松尚氏（建築家）	
		保存・活用とまちづくり/丹波 講座終了レポートの中間報告	才本謙二氏（建築家）	
14	H26. 7. 26	講座終了レポート発表会		

	回	開催日	内 容	講 師
第 7 期	1	H27. 1. 17	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論	永井規男氏（古材文化の会、関西大学名誉教授） 寺田敏紀（(公財)京都市景観・まちづくりセンター）
	2	H27. 1. 31	民家建築	中川等氏（大阪産業大学准教授）
			文化財保護法	武内正和氏（文化庁）
	3	H27. 2. 14	庭園の様式	仲隆裕氏（京都造形芸術大学教授）
			文化財建築物の保存・活用	杉本歌子氏（奈良屋記念杉本家保存会）
	4	H27. 2. 28	見学	秦家住宅、杉本家住宅
			住宅建築	日向進氏（古材文化の会）
			近代洋風建築	石田潤一郎氏（京都工芸繊維大学教授）
	5	H27. 3. 14	京都の文化財	石川祐一氏（京都市文化市民局文化財保護課）
			演習1 指定文化財修理の現場見学	京都府文化財保護課

※ 第7期は計14回実施し、第14回に講座修了レポート発表会を実施予定

■上級講座（第3期(実施済分)）

	回	開催日	内 容	講 師
1	H26. 12. 13	実践課題の進め方	中川等氏（大阪産業大学）	
		歴史的建造物の調査方法と報告書のまとめ方		
		課題テーマの意見交換		
2	H27. 1. 31	調査対象の相談	評価・判定コース 中川等氏（大阪産業大学） 保存・活用コース 古賀芳智氏（建築家） 白石秀知氏（古材文化の会）	
3	H26. 2. 15	調査対象の決定・発表	各コース担当者	
4	H27. 3. 28	課題中間報告	各コース担当者	

※ 第3期は計15回実施し、第15回に講座修了レポート発表会を実施予定

6 景観整備機構に関わる関連業務（再掲）

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家に対し、京町家なんでも相談から往訪事業の実施や京町家まちづくりファンドの助成物件など、景観重要建造物への指定を推進した。

- ・景観重要建造物への指定提案3件

7 京都市景観・まちづくりセンター管理運営

(1) 京都市景観・まちづくりセンター等管理施設運営

指定管理者として京都市景観・まちづくりセンター等の管理運営を行った。

【指定管理期間：平成 25 年度～28 年度】

利用者数 60,554 人（平成 25 年度末 59,626 人）

ア 京のまちかど展示コーナー

京都のまちづくりに関する情報提供を行う展示施設を運営した。

- ・利用者数 24,118 人（平成 25 年度末 29,798 人）
- ・展示機器の入れ換えに伴う改修工事を行った（平成 26 年 12 月実施）。

イ 図書コーナー

ひと・まち交流館 京都 図書コーナーを運営した。

- ・所蔵資料数（平成 26 年度末時点）

内訳	点数
一般書籍	13,772(13,507)
郷土資料	861(830)
行政資料	1,481(1,464)
視聴覚資料	531(531)
雑誌	616(598)
地図、絵本等	741(743)
合計	18,002(17,673)

※（）内は平成 25 年度末時点の点数。

- ・利用状況

内訳	平成 26 年度末	平成 25 年度末
利用者数	20,640 人	20,233 人
利用者カード新規発行数	99 枚	144 枚
利用者カード延べ発行数	2,976 枚	2,802 枚
図書等貸出数	2,043 点	2,219 点

- ・ギャラリートーク

利用者増加に向けた取組の一環として、企画展示「上杉本洛中洛外図屏風」を用いたギャラリートークを開催した。

内 容：「上杉本洛中洛外図屏風」の見所、関連図書の紹介

参加者：平成 27 年 2 月 14 日 22 名、同 2 月 25 日 13 名

ウ まちづくり交流サロン

広く一般に開放され、打ち合わせ等ができるサロンを運営した。また、利用者の利便性、満足度向上を図るためのアンケート調査を実施した。

エ まちづくり工房

コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置したスペースを運営した。

オ ワークショップルーム

景観・まちづくり大学をはじめとする、主催、共催事業等での活用、登録団体への貸出しを行った。

<稼動回数>

ワークショップルーム1：172回

ワークショップルーム2：211回

ワークショップルーム3：展示施設「京町家情報コーナー」を運営

(2) 施設管理に伴う情報発信

ホームページ等の電子媒体を活用し、センターの活動及び情報等を発信した。

- ・ホームページアクセス件数 225,656件（平成25年度末 222,337件）
- ・メールマガジンの配信 19回（平成25年度末 12回）
- ・メールマガジン購読者数 1,511人（平成25年度末 1,421人）

公2：京町家保全再生事業

良質な地域コミュニティの形成と歴史都市・京都の景観の基盤を構成してきた、京町家等の伝統的建造物を保全・継承し、伝統的な京都の暮らしの文化を今に活かすとともに、歴史資産としてのストックと新たに形成される良質な建造物とが融合した京都らしい活力のある歴史的町並みの形成を目的とする。

京町家まちづくりファンド改修助成

京町家まちづくりファンド基本方針に基づき、京町家の再生・修復及び通り景観の修景に係る工事等の活動に対し、改修費用の一部を助成した。

(平成26年度交付実績4件(うち前年度選定1件)、次年度繰越3件)

【助成案件】

<p>友田邸 (下京区・H25 選定)</p>  <p>改修前</p>	 <p>改修後</p>	<p>助成対象工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根の改修 ・虫籠窓を含む外壁の改修 ・外部建具の改修 ・出格子の補修 <p>活用の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居
<p>北井邸 (北区・H26 選定)</p>  <p>改修前</p>	 <p>改修後</p>	<p>助成対象工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根の改修 ・外壁の補修 ・外部建具の改修 ・出格子の補修 <p>活用の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居
<p>川端邸 (上京区・H26 選定)</p>  <p>改修前</p>	 <p>改修後</p>	<p>助成対象工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根の補修 ・外壁の改修 ・外部建具の改修 ・平格子の改修 <p>活用の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居
<p>横井邸 (上京区・H26 選定)</p>  <p>改修前</p>	 <p>改修後</p>	<p>助成対象工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根の改修 ・外壁の改修 ・外部建具の改修 ・出格子の改修 <p>活用の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居

【収入実績】

収入総額 4,149,569 円（基金運用、寄付金、募金等の収入）

（内訳）

①基金運用収入（利息、配当金収入）	1,328,931 円
②基金寄付金収入	1,480,566 円
③基金募金収入	1,340,072 円
合 計	4,149,569 円

（参考）

①基金運用収入（利息、配当金収入）

債券 （償還日）	帳簿価額	評価額	利率	平成 26 年度 運用利息
京都市第 3 回 20 年公募公債 （2025 年 12 月）	30,000 千円	34,903,230 円 （116.3441%）	固定 2.09%	627,000 円
第 9 回利付国債（30 年） （2032 年 12 月）	50,000 千円	53,656,250 円 （107.3125%）	固定 1.40%	700,000 円

②寄付金収入内訳

法人・団体		個人		合計
延べ団体数	金額（円）	延べ人数	金額（円）	金額（円）
2	411,100	41	1,069,466	1,480,566

③募金収入内訳

支援自動 販売機	寄付付き商品		募金箱	まちセン ゴールドカード	その他	合計
	バナナ	八ッ橋				
344,310	197,262	773,974	3,424	17,742	3,360	1,340,072

<期末特定資産の状況>

基金積立資産（京都市補助金及び寄付金等）

京都銀行普通預金（寄付金・募金）	8,310,211 円
京都市第 3 回 20 年公募公債（20 年）	34,903,230 円（30,000,000 円）
第 9 回利付国債（30 年）	53,656,250 円（50,000,000 円）

※（）内の金額は帳簿価格。

法人運営

1 理事会・評議員会

役員体制は、平成 26 年 6 月 6 日付で青山吉隆理事長が就任し、新たな体制がスタートした。また、同日付で財団設立以来、継続して理事（平成 17 年からは理事長）を務めていた三村浩史理事長が退任した。

下表のとおり、理事会は 4 回、評議員会は 2 回、評議員選定委員会は 1 回開催した。

【理事会】

回	開催日	主要審議事項
第 8 回	H26. 5. 21	特定費用準備資金「20 周年記念事業資金」の保有について 平成 25 年度事業報告及び決算について 評議員選定委員の選任について
第 9 回	H26. 6. 6	理事長及び専務理事の選任について
第 10 回	H26. 10. 28	平成 26 年度事業執行状況について（報告）
第 11 回	H27. 3. 9	平成 27 年度事業計画及び収支予算について

【評議員会】

回	開催日	主要審議事項
第 5 回	H26. 6. 6	理事の選任について 平成 25 年度事業報告及び決算について
第 6 回	H27. 3. 24	平成 27 年度事業計画及び収支予算について

【評議員選定委員会】

回	開催日	主要審議事項
第 2 回	H26. 5. 26	評議員の選任について

2 賛助会員管理

当財団賛助会員管理を行った。

<入会状況>

種別	延べ人数、団体数	会費収入
個人会員	206 人 (204 人)	1,420,000 円 (1,050,000 円)
団体会員	21 団体 (28 団体)	1,150,000 円 (1,500,000 円)
		2,570,000 円 (2,550,000 円)

※ () 内は平成 25 年度末時点の金額。

【参考】(年間会費) 個人 (1 口) 5,000 円
団体 (1 口) 50,000 円

3 財産管理

基本財産、特定資産の運用等、財産の管理を行った。

4 職員研修の充実

職員の資質、能力向上を図ることを目的として、業務研修、新規採用職員研修、ビジネスマナー研修等を行った。

(1) 組織内研修の活用、各種講習会への参加（専門知識、現場力の向上）

開催日	研修名	講師
H26. 4. 2-4. 8	新任職員研修	森川宏剛氏（NPO法人京都景観フォーラム）、当財団職員等
H26. 4. 16	密集市街地、細街路、空き家対策等に関する研修	文山達昭氏（京都市都市計画局まち再生・創造推進室）
H26. 4. 17	京町家データベース研修	高木良枝氏（立命館大学研究員）
H26. 7. 3	京都市空き家事業に関する研修	小野利恵氏（京都市都市計画局まち再生・創造推進室）

(2) 外部研修の活用（ビジネススキル、マネジメント力の向上）

開催日	研修名	講師
H27. 2. 19	働きやすい職場のための「ビジネスマナーとビジネスコミュニケーション」	本多真理子氏（株式会社アイシーエル）

5 その他

環境改善の取組として、KES（環境マネジメントシステム）ステップ1を推進した。

<取組内容>

	環境改善項目	具体的施策
省エネルギー化	電力使用量1%削減 (平成25年度基準)	事務所内各フロア未使用時の消灯 外出時パソコン電源 OFF" 空調の使用管理
省資源化	事務用紙使用量1%削減 (平成22年度基準) 188,000枚×1%=1,880枚 約1%である2,000枚削減	両面コピーの活用 裏紙の再利用 コピー使用枚数の記入(10枚以上)
啓発活動	建物周辺の清掃 (毎月1回2~3人以上の参加)	建物周辺及び付近の歩道を毎月清掃